

The Center for the Study of the Presidency and Congress
2015-2016 Presidential Fellows Program 学生募集要項

1. 主 旨

米国の若者の公共奉仕、リーダーシップ育成を目的とし、大統領制度、政策プロセス、メディアとの関わり等を研究する機会を同フェロープログラムは提供しています。毎年米国のトップ大学の学生、そして2011年度から日本人学生にも門戸が広がり、他国の少数の参加者も加えて例年 75 名前後が参加します。

2015 年度は、(株)トヨタ自動車、ANA の支援により3名の日本人を、各連携大学を通じて学生募集を行い、日米研究インスティテュート(USJI)が最終選考を行います。

採用学生は 2015 年 10 月末の第 1 回フェローシップ会議に参加し、ホワイトハウスや議会のスタッフらと意見交換を行う等、政治の現場を体験します。また、自ら関心のある政治・政策に関わる課題について研究を行った上で、レポートを提出し、2016 年 3 月の第 2 回フェローシップ会議で発表することが求められます。また、日本で開催される報告会に参加することが義務付けられています。

2. 概要・スケジュール

(1)募集人数: 3名(各大学から1名を推薦したのち、USJI で3名を決定する)

(2)研修地: 米国ワシントン D.C.

(3)研修と報告: **<第 1 回フェローシップ会議>**

期間: 2015 年 10 月 18 日(日)～24 日(土)

内容: 議会、政府訪問、メンターアサイン、ディスカッション研究テーマ決定等

<プログラム中間報告会>

11 月～2月の間に第1回のフェローシップ参加報告(東京)。

<第 2 回フェローシップ会議>

期間: 2016 年 3 月 19 日(土)～25 日(金)

内容: 研究成果発表 等

<プログラム報告会>

5月～8月の間にフェローシップ会議全体の報告会(東京)参加。

(4)経費: 渡航費、現地滞在費、ホテルでの食費 DC 内での会議にかかわる交通費は CSPC が負担。

(但し、現地での医療費、海外旅行保険費用は除く)。詳細については選考決定後に配布される「International Welcome Packet 2015-2016」を参照のこと。

東京での参加報告会に、京都大学、同志社大学、立命館大学、九州大学から出席する際、「CSPC プログラム報告会参加旅費に関する要領」に該当する場合は、規定の旅費支援を受けることができる。

3. 応募資格(以下のすべてを満たしていること)

(1)正規生として大学に在籍する学部・大学院学生。留学中の学生も対象とする。

* 例年米国側フェロー学生は、参加時に学部 4 年生が多いが、大学院生や優秀な 4 年生以下の学部学生も応募可能。

＊全ての学科・専攻からの応募が可能。

過去のフェローの専攻、副専攻は、「政治」、「歴史」、「国際関係」、「ビジネス」、「哲学」、「経済」、「公衆衛生」、「ジャーナリズム」。

(2)プログラム参加期間も大学に在籍していること。

(3)日本国籍を保有していること。

4. 応募条件

(1)成績優秀であること(GPA3.5 以上、平均して A-の成績を求めています)。

(2)英語による議論、ライティング能力が米国学生と比べても問題ない能力を有していること。また、米国政治、国際関係への強い興味を持っているとともに、ディスカッションの場で自身の専門分野のみならず、文化、歴史、時事問題などを含めて幅広く日本のことを議論ができ貢献できること。グループ、チームワーク学習に積極的に参加できること。

(3)米国大統領制(U.S. Presidency)・米国議会等に直接関連するテーマでオリジナルの研究を行うこと。
8-15 枚の最終報告書を 2016 年 5 月までに作成すること。その他、CSPCの要請に応じて Proposal や Blog Post 等の作成等に応じること。

(4)プログラム参加において、授業履修や研究指導等に支障がないこと(授業や学事を理由とした参加期間途中の辞退・中止は認められないので注意すること。)

(5)東京で開催されるプログラム中間報告会、プログラム報告会に必ず参加すること。

(6)参加期間中の不慮の事故や疾病をカバーする海外旅行保険に加入すること。

5. 出願方法

(1)提出書類:

①2015-2016CSPC フェロープログラム申込書(提出様式1。PC入力したもの)

各大学所見欄については、下記④の書き手により、上記4. 応募条件(2)に該当していることの説明をお書き下さい。

②Application for International Students (提出様式2。PC入力したもの)

③英文履歴書(CV)(書式自由)

④Nomination Letter (書式自由:見本参照)

指導教員等によるもの。当該学生の本プログラムに対する適性、能力、人物等の説明、教員としても参加時に備えて指導・支援すること等を述べて下さい。

⑤学業成績証明書(写し等も可。学部1年時から最新のものまで)

⑥TOEFL スコア等、英語力を示す書類

※ ⑤⑥は学内の選考にのみ使用します。

(2)提出先: 所属学部・研究科の教務窓口

(3)提出締切: 所属学部・研究科による

6. 選考方法 京都大学内でも、USJIでも、書類により選考します。

各大学から1名推薦したのち、USJI で最終選考を行います。最終選考結果は、USJI 日本オフィスより各大学窓口を通じて部局・学生本人へ連絡します(6月下旬の予定)。

7. 個人情報の取り扱い

提出書類に記載された情報は、全て各大学事務局を通じて、USJI および CSPC に提供されますので、予めご了承ください。なお、いただいた情報は、必要に応じて、USJI の活動案内等に活用させていただきます。

【関連URL】

CSPC 概要：<https://www.thepresidency.org/about-us>

プログラム紹介：<https://www.thepresidency.org/programs/2014-2015-fellows-program>

【問い合わせ先】教育推進・学生支援部国際教育交流課交流支援掛 上田純平(2205)

ryuga-exchange@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

—2013 参加学生の声— 早稲田大学卒業生 庄司 航平

CSPC Presidential Fellows Program は貴重な機会を数々与えられるプログラムであります。一方で、それを最大限に活かすためには相当の覚悟、準備、知識、コミュニケーションスキル、そして勇気が必要だと感じました。プログラムの詳細に記載されているように、世界中のトップレベルの学生、政府高官及び高ランクの国際機関職員など、普段ではお会いできない人々と少人数でディスカッションをするイベントが多数あります。ここで勇気を振り絞り、会議までに重ねてきた準備や知識を活かし、ハイレベルなディスカッションに貢献できれば貴重な意見や情報を聞けます。さらに、もしかすれば連絡先を頂け、今後の情報収集、ネットワーキングにおいてもかけがえのない財産を得ることさえできるかもしれません。また、自由時間もあるため、これは Ivy League 校をはじめとするそれぞれの大学内の選抜を潜り抜けてきた優秀な学生とパーソナルなレベルで交流する機会でもあります。他にもアメリカの政治の中心というユニークな環境を活かし、例えば事前に普段日本ではお会いできないような方々と個人的に連絡を取り、面談を入れたりすることもできます。ただし、当プログラムではあくまでこのような機会が与えられるだけです。ディスカッション中に何も発言せず、自由時間にテレビを見ていても、すべてのタスクを終えることはできます。しかし、これではあまりにももったいないと思います。当プログラムは、大学時代最大のハイライトとなり得ますし、今後の人生における貴重な財産をいくつも得られる機会でもあります。以上を踏まえ、CSPC Presidential Fellows Program を最大限に活かせると思う方々には、奮って応募していただきたいと思います。





－2012 参加学生の声－ 立命館大学卒業生 吉川 睦

Center for the Study of the Presidency and Congress(CSPC)、International Fellows の一番の魅力は、アメリカ現代政治、外交や国際経済、リーダーシップなど幅広い分野のゲストスピーカーから話を聞くことができ、それだけではなく、その場で意見交換ができることだと感じました。年に2回ある会議は、前半の International Fellows だけで、ペンタゴンやアメリカ国務省、シンクタンク、大使館などを訪問するフィールドスタディと、後半のアメリカ人学生と合流し、ホテルの会議室で開かれる Presidential Fellows Conference に分かれています。実際にワシントン D.C.で働いている人に会い、話を聞き、質問をする、アメリカならではのインタラクティブなプログラムです。

私は、このプログラムを通して、アメリカ政治はもちろんのこと、今アメリカ人学生が何を考えているのか、どういうキャリアを描いているのか、ディスカッションにはどのように参加したら良いのか、などの実践的な知識も学ぶことができました。

応募を考えている人へ。全体を通して、とても詳しいアメリカ政治や歴史の知識が問われます。また、政治家やジャーナリストやリサーチャーとしての働き方などの話もたくさんあります。アメリカ政治専門の方、政治家志望の方、現在大学生で大学院志望の方には是非、応募して欲しいと思います。



*日米研究インスティテュート(USJI)とは、2009年4月、ワシントン D.C.に設立した米国 NPO 団体で、主な活動内容は、政策提言型の研究を行い、ワークショップやセミナーで情報発信をするとともに、幅広いネットワーク形成に努めています。将来の日米関係を担う次世代人材育成もミッションの1つです。連携大学として、九州大学、京都大学、慶應義塾大学、上智大学、筑波大学、東京大学、同志社大学、立命館大学、早稲田大学の8大学が運営に当たっています。

URL: <http://www.us-jpri.org/index.html>